

終活事典123 29

現代の生活に欠かせなくなつたもの。それは、パソコンやスマートフォン(スマホ)などの機器です。

預金口座への振り込み

情報機器はどうする

IDなど資料に保管を

や株式取引、ホームページ(HP)やブログ開設のほか、会員制交流サイト(SNS)への参加など、コミュニケーションツールとしても幅広く利用されるようになりまし

た。ところで、あなたが突然亡くなつたら、これらはどうなるのでしょうか。こんな声もあります。「知人が亡くなつた。数年後つのに、今でもSNSで誕生日のお知らせが来て、つらい思いをしている」

この分野においても、元気なうちに整理しておきたいものです。HPやブログ、SNSなどを放置しておくこ

アカウントを乗っ取られたり、そこからウイルスをまかれたりして、仲間に迷惑を掛ける恐れもあります。

利用者が亡くなった場

合の対応は、サービス会社によって異なります。中には利用が一定期間ない時に、あらかじめ指示しておいたメッセージの発信やアカウントの削除

などを自動的に実行する仕組みもあります。

もし、誰かに、利用停止の手続きを頼む場合には、パソコンやサービスを利用するIDやパスワードを記載した資料を作り、保管場所をエンディングノートに書いておきましょう。そして、信頼できる人にノートがどこにあるかを教えておいてください。

また、データの削除や訃報の掲示などについても考え、あらかじめ伝えておくことでよいでしょう。自分が亡くなった後、パソコンやスマホなどの機器を廃棄するのか、家族に使ってもらうのかについても話しておきたいものです。

(終活アドバイザー・若色信悟)



イラスト/小林隆一 SHIMOTSUKE GRAPHICS